

関係機関・団体・課・室長 様


兵庫県農政環境部長

令和元年度 兵庫県農業気象技術情報第7号 (11~12月情報) について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
水稲	全 県 共 通	<p>1 生育、病虫害 <収穫後のほ場について></p> <p>(1) 近年、イネ縞葉枯病の発生が地域によっては多発傾向にある。「ひこばえ」等でも発病し、保毒虫増加の要因になるため、刈取り後はできるだけ速やかに耕うんする。また、発生が多い地域では、冬の畦畔雑草の管理を徹底し、ヒメトビウンカの越冬密度低減に努める。</p> <p>(2) 紋枯病の多かったほ場では、耕うん回数を多くして越冬菌核を少なくする。</p> <p>(3) 表面排水に努め乾田化を図り、できるだけ早く稲わら及びたい肥をすき込む。その際は、ほ場条件や水稲の生育状況等を考慮し、ケイ酸質肥料等の土づくり資材を施用する。</p>	 <p>写真「ひこばえ」のイネ縞葉枯病感染</p>
麦	全 県 共 通	<p>1 生育、病虫害 気象庁の3か月予報では、気温は高い、降水量は平年並と予想されている。 麦は出芽時のほ場管理が増収の決め手となるため、排水対策を徹底すること。</p>	<p>1 生育、病虫害 土壌診断に基づいて、pH6.0~7.0を目標に苦土石灰等の石灰質肥料を施用して土壌酸度を矯正する。 早めに周辺溝や排水溝を設置し、必ず排水口に連結する。さらに、弾丸暗きょ等を設置し、排水対策を徹底する。 「病虫害・雑草防除指導指針 (兵庫県農業情報システム)」に基づき、種子消毒を実施する。 適期播種に努める。播種時期が遅れた場合は、播種量を増やす。(11月下旬では2割増とする) 年内の生育が旺盛な場合は、5葉期以降に速やかに麦踏みを行う。ただし、麦踏みはほ場が乾いた状態で実施し、その後、排水溝の手直しを行う。</p>

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
普通大豆	全県共通	1 生育 成熟期は平年並～やや遅れる見込み。	1 生育 収穫時期は、莢を振って音がする頃を目安とする。 コンバイン収穫の際は、汚粒防止のため、青立ち株及び雑草を除去し茎の水分に留意して刈取り時期を決め、適期収穫に努める。 しわ粒をださないように急速な乾燥は避ける。 ＜コンバイン収穫の刈り取り適期の目安＞ 茎水分50%以下になった時で、茎がやや黒みを帯びて、手でポキッと二つに折れる状態であること。
黒大豆	全県共通	1 生育 成熟期は平年より遅れる見込み。	1 生育 計画的に各作業（葉とり、刈り取り、脱粒等）を行う。 裂皮、しわ粒をださないように急速な乾燥は避ける。
キャベツ	全県共通	1 生育 9月～10月上旬にかけ、高温、干ばつ傾向で推移し、生育の遅れが懸念されたが、10月中旬以降、適温、定期的な降雨により生育は回復している。 2 病害虫 食葉性チョウ目害虫についてはやや多い発生が予想されている。	1 生育 3ヶ月予報では、11月～1月にかけ、気温は高く、降水量は平年並の見込みとなっている。ほ場排水に努めるとともに、収穫時期が前進する可能性もあるため、適期の収穫を心がける。 2 病害虫 中齢期以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。
果樹	全県共通	1 生育 凍寒害の発生防止に努める。 2 病害虫 越冬病害虫の密度を下げる。	1 生育 凍寒害や雪害の危険性のある園地では被害防止対策を行う。 ・イチジク：わら、アルミ蒸着フィルム等の被覆（主枝上面にわらの束を載せるだけでも凍害防止効果あり） ・クリ：幼木への株ゆるめ処理等 ・ナシ：早めの剪定（粗剪定）、果樹棚の点検、補強 ・カンキツ：不織布やコモの被覆 2 病害虫 病害虫による被害果、剪定枝及び落葉の焼却や園外への持ち出し等を行う。必要に応じて薬剤散布を行う。 カンキツは収穫前に貯蔵病害対策を実施する。

◎水稲・麦・大豆の栽培については「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考にすること。

※本情報は、10月30日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報（11月2日～12月1日）

[令和元年10月31日 大阪管区气象台発表]

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温の変動が大きいでしょう。

<予想される向こう1か月の天候>

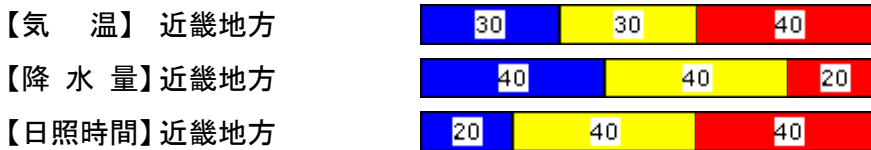
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

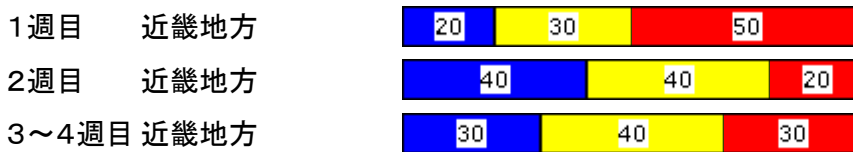
向こう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



<気温経過の各階級の確率（%）>



凡例: 低い 平年並 高い

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。

- 11月 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
- 12月 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
- 1月 近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

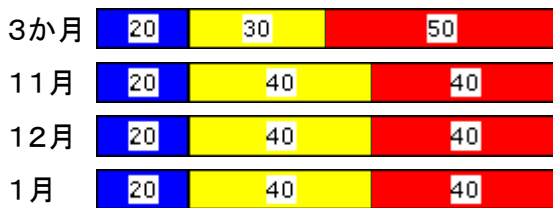
<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率（%）>

【気温】

【降水量】

[近畿地方]

[近畿日本海側]



[近畿太平洋側]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病虫害発生予察情報」 <http://hyogo-nourinsuisange.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「病虫害・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)」 <http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」 http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078) 341-7711(代表)
- 農産班:主作担当 内線 4074
- 農産班:野菜担当 内線 4054
- 花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
- 企画調整・経営支援部 TEL (0790) 47-2435
- 農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790) 47-2410
- 農業技術センター 病虫害部 TEL (0790) 47-1222
- 北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079) 674-1230
- 淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799) 42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)